



いわき市からの お知らせ

いわき市民憲章

わたくしたち いわき市民は

- 1 元気で働き、豊かなまちをつくりましょう。
- 1 互いに助け合い、明るいまちをつくりましょう。
- 1 きまりを守り、住みよいまちをつくりましょう。
- 1 教養を高め、文化のまちをつくりましょう。
- 1 自然を愛し、緑のまちをつくりましょう。



ツキノワグマにご注意

福島県より、本年9月1日から12月31日までの間、本市を含む県内全域（会津地域を除く）に「ツキノワグマ出没特別注意報（秋期）」が発令されており、去る11月5日に、遠野地区において「クマ」の可能性のある動物の「フン」が発見され、また、11月21日に田人地区で「クマを目撃した」との情報寄せられています。

現時点でツキノワグマによる被害は確認されておらず、また、市街地周辺に出現する可能性は極めて低いと思われませんが、万が一に備え、行楽等で入山する際には十分注意してください。

1 あわないようにするための心構え

まずは、あなたの周辺にツキノワグマがいるのかどうか知ることが大切です。

もし、いたとしても、ツキノワグマが積極的に人を襲うことはほとんどない、とされていますが、秋から冬にかけては、冬眠に向けてエサを大量に食べる時期に当たるため、ツキノワグマの行動範囲は広がります。

ツキノワグマは、果樹や作物などのエサを求めて出没しますので、近隣に寄り付くことのないよう、庭先にエサ（生ごみ等）となるようなものを置かないように対策してください。

ツキノワグマの行動を知り、あわないようにする。

- ツキノワグマの痕跡（足跡、フンなど）や目撃情報がある場所では、突然出合わないよう特に注意し、笛や鈴、ラジオなど音のするものを身につけ、ツキノワグマに自分の存在を知らせるよう行動し、必要に応じて引き返す勇気を持つ。
- ツキノワグマは夜間や朝夕など活発に行動するため、特に注意が必要。朝早くの農作業等は、音のするものを身につけ、単独行動する場合は常に周辺に注意する。
- 子グマを見つけたらそっと立ち去る。親グマが絶対近くにいる。子グマを守ろうと、親は攻撃してくるので危険である。
- 餌場と認識させないため、戸外の生ごみ、果樹や畑の作物、お墓への供物は放置しない。

2 であった時に興奮しない、興奮させないために

- 遠くにいるのを発見した場合は、あわてず、そっと立ち去る。
- ツキノワグマに大声で叫んだり、石や棒切れを投げつけたりしない。
- ツキノワグマから目を離さないようにして、できるだけゆっくりと後ずさりしながらツキノワグマから離れる。ツキノワグマとの間に立木等の障害物を入れることができる位置に移動することで突進を防げる。
- 背中を見せて逃げるとクマは本能的に襲ってくるので、走って逃げない。